

「求められる総長像」

平成 27 年 3 月 18 日大阪大学総長選考会議決定

大阪大学は、大阪大学の原点である適塾や精神的源流である懐徳堂から受け継ぐ先見性と自由闊達な精神を継承した大阪大学憲章に掲げる基本理念を尊重し、「物事の本質を見極める」高いレベルの学問を追及し、「学問による調和ある多様性の創造」により社会に大きく貢献することを目標として、その基礎となる教育力・研究力を強化し、世界屈指の研究型総合大学になることを目指している。

総長には、その実現を追及する強い意志を有するとともに、次のような資質・能力が求められる。

- 人格が高潔で、学識が優れ、国際的な視野を持ち、学内外からの信頼を得て、組織のリーダーとしてのコミュニケーション及び決断・実行できる能力
- 大阪大学の理念実現のため、将来のビジョン及び方策を明確に示し、高い志をもってその実現に取り組む能力
- 世界屈指の研究型総合大学を目指し、学内のガバナンスにおけるリーダーシップを発揮し、大学改革を強力に推進し、大学を進化させていく経営能力
- 大阪大学を自ら世界に開き、グローバル時代にふさわしい教育基盤及び研究環境を構築し、大学の存立基盤を確立するとともに、国際連携、地域連携及び産学連携を深め、社会の発展に資することができる能力